

NPO 法人 静岡情報産業協会

2019 年度 8 回理事会 議事録

開催日時:令和元年 12 月 17 日(火) 16:00~17:15

開催場所:静岡商工会議所 401会議室

出席者:(理事)森永春二副理事長(議長)、久保田光二副理事長、漆畑晃司、岸本道明、小林裕敏、北川幹根、白崎利哉、渡邊治彦 (監事)上田和博、小谷勇

委任状:石井潔、稲葉豊穂、齊藤弘幸、村松克己

オブザーバー出席:佐藤征教(静岡市商工部経済政策課参事兼課長補佐)、
前田憲吾(同課主事)、新庄大輔(同市総務局 ICT 推進課副主幹)

事務局:桜井俊秀

欠 席:(監事)吉兼正哲、(相談役)鈴木佐太郎 (以上、敬称略)

開会

森永副理事長あいさつ(要旨)

最近自分たちが主催しているセミナーで感じるところがあるので紹介したい。

このような研修・講座というものは、事務系のビジネスプランの企画やビッグデータの活用などを考えている方たちに向けたものだが、最近の三つの事例で受講者のうちユーザー企業からの受講が大半を占めている。このことは、ユーザー企業が新しい時代の中で人材育成の必要性を感じていて、危機感とともに自社の基軸をどこにおくかという点で、人材育成に力点を置いていることが見えてくる。

これに反して、多くの IT 企業では、忙しいということもあろうが、このようなことに人を出してこないというところを感じられ、先日上京した折に、経産省からも従前型の研修から、もっと先端型の研修を強化するよう求められたところで、データ分析やサイエンティスト講座を開くにあたって、IT ベンダーもこういうことに対して人を育成するといった観点が弱いと感じたので、ちょっと気にかけてみたいと思った次第です。

議事 森永副理事長が議長に就任し、以下の議事に入った

1. 報告事項

① 事務局報告

1) 海外研修事業の件

- ・NPO 法人という性格上、公平性の点から複数旅行代理店への「提案要求」を予定【後半の協議事項で協議】
- ・2021 年度末まで範囲を広げ最適なメニュー作りを心がける

- 2) 各部会に次年度事業計画および体制の件(協議事項で協議)
 - ・事業計画に加え部会長以下の編成の検討を求める(中期的視点)

② 運営委員会報告

1) 人材育成・教育研修部会

a. 小学生プログラミング教室

- ・開催日時:12月21日(土) 13:30~15:00 (90分間)
- ・会場:中村学園静岡電子情報カレッジ
- ・受講人数:10組(保護者同伴)
- ・受講料:無料
- ・講師:コサウエル五十嵐氏に依頼
- ・11月22日より募集開始し、現在募集中(12/6現在5組)

b. 第2回会員ニーズセミナー「QRコード決済システム」

- ・開催日時:令和2年2月10日(月)15:30~17:30
- ・会場:静岡市産学交流センター 7F「大会議室」
- ・受講料:無料
- ・講師:部会にて交渉中

*本日の部会で、PayPay及び静岡新聞社から講師派遣を依頼済みの報告があった。

c. RPA 講座開催再検討

*本日の部会での協議の結果、当初案は白紙に戻し、本年度「体験版」として、無料で2月後半に受講対象者を総務経理担当者向けに実施し、来年度に「本格版(本年度企画した内容)で再度臨むことになった。また、受講対象も更に「土業」(社労士、行政書士等)の定型業務を主とする業務に絞り込んで、業務の生産性向上に資することを訴求することで受講者の増加も確実にして行くということが報告された。

また、現在各部会で発信するセミナー・講座開講情報の拡散(周知)に限界があり、それを打破するためにも、今後外部の業界団体等とも連携し、情報拡散機能を高めることも部会で協議されたことが報告された。

【後半の協議事項で協議】

2) ビジネス・マッチング部会

a.「Kintone Café in 静岡」

- 本日部会にて確定(別紙チラシ参照)
- ・Caféスタイルのコミュニティーの中からニーズ発掘
- ・会員交流、行政交流、異業種交流の実現を図る

- ・会員以外に商工会議所との連携(稲葉理事に協力依頼)
- ・開催日時:令和2年2月20日(木)13:30~19:30
- ・会場:静岡商工会議所 403 会議室
- ・講師:(スピーカー)キャットクラウド
- 協力:(株)トムス、(株)静鉄情報センター

b. 第2回会員ニーズセミナー「会員交流会」

- ・人材育成・教育研修部会と連携
- ・開催日時:(第2回会員ニーズセミナー開催当日 17:30~19:00)
- ・会場:ホテル・シティオ 2F「駿」

3)人材開拓推進部会

a.「Web セミナー」

- ・12月3日(火)18:00~19:00 SBSにてウェブ配信
(以後、Webで2020年9月まで聴取可能)
- ・10社が参加(アンケートでも概ね好評を得ている)
- ・効果測定中

b.「中途採用セミナー」

- ・2月に実施することを検討中(2月部会開催日に替えて)

(2)協議事項

1)部会事業の検討

a. 海外視察複数旅行代理店への「提案要求」の件

- * 旅行社に対して、どのような提案を求めるのか、また旅行社の選択肢としてどこがあるかについて議論した。
- ・旅行社選定は、ある程度信用性の高い業者にすべき
- ・単なる観光旅行と違い、アテンドの可能性も含め提案内容を吟味する必要がある
- ・ある程度ノウハウのある業者ということで、従来の静鉄観光サービスも含め、対象を3社程度に絞り込む
- ・静岡市の場合、大手にプレゼンを求める
- ・時期については、6月から翌年度2月頃まで幅広く設定
- ・深圳の現状から、進展が捗々しくないことも心配されるところ⇒どこの旅行社でも同じ
- ・深圳に拘らない提案なら、他社にも可能性はある
- ・専門性を加味した提案を求める

- ・来年の深圳の状況を考えると、香港の状況次第で決定することが難しい
- ・深圳もあるが、他の提案も求めることも検討するか
- ・ある程度の規模感のある旅行社に、他の提案も求めるか
- ・幅広く提案する旅行社に声をかけ、絞り込んで行く
- ・来年6月頃には、ある程度方向性も出す必要もあり、年明けから論議を始める
- ・「A 案」、「B 案」というように提案を求める
- ・業者案として、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト等、あるいは「得意技」を持っている業者を選定する(ネット検索)

b.「RPA 講座」実施見直し案の件

- * 本日の部会報告に対し、理事会として下記の点で協議が行われた。
- ・一般論としての「会員紹介枠」については、受講料と差を設ける、あるいは若干の差を付けながら受講を促せる金額に設定するなどが考えられる
- ・この議論は、今後開講される諸講座を想定したもので、どのような形にするのが良いのかという観点で意見を求める
- ・「紹介枠」を設け一般より若干下げる程度にして、あまり差をつけないようにしたらどうか
- ・かつて「ICT 会員の場合、もう一名は無料」という手法は従来もあった
- ・差がないということは、ICT 会員にとってのメリットが感じられない
- ・冒頭の森永副理事長の挨拶にあったように、関心が高ければ、ユーザー企業も受講するだろう
- ・各部会共通の課題として、情報発信力に乏しく、その結果、今回「土業」に焦点を当てたような手法も、今一度再考する必要がある
- ・商工会議所との連携により、1万社以上に情報が行きわたるが、チラシ製作などの経費負担(年間4~50万円)も発生するが、効果も期待できる
- ・来年度は、なるべく早く方針を決定して、広報経費負担を軽減させたい
- ・理事会で方向性だけでも打ち出して、部会としても論議しやすいのでは
- ・会員拡大、知名度アップ等に繋がるのか、など打ち出したらどうか？
- ・今後、どこと連携してニーズを発掘して行くかということは大事なこと
- ・我々としては、需要者との接点をもっと増やす必要がある
- ・そこから、ITに関する相談窓口機能が生じてくる
- ・以上のような観点から様々な手立てにより講座・セミナーに来てもらうような仕掛け作りが必要になる
- ・そのようなことから、何がしかの「紹介枠」も必要と思われるが、同時に受講料体系の検討も必要になる
- ・受益者負担とするか、どこにメリットがあるか、ポイントを見極める必要もある
- ・紹介枠の考えは会員拡大が目的である一方、会費値上げをして以降の会員に対する

還元も考慮する必要がある

- ・会員拡大のテーマに沿って一定の範囲での紹介枠を設けることは必要ではないか
- ・「例」として「一回につき一社」というような枠の設定
- ・まずは「魅力あるセミナー」を目指すことにあり、次に ICT 会員から紹介しやすくなる料金体系を検討するということではないか
- ・「士業」を対象というように絞り込まない方が良いのではないか
- ・体験版は間口を広げる予定
- ・業界向けは、業界団体から受託する形をとるべきで、外部に向けたセミナー等については、対象を広げるべきであって、一業種に絞るのは如何なものかということになる
- ・「働き方改革セミナー」というテーマで、中央会から受託する可能性もあるとのアドバイスがあった
- ・どこに焦点を当てるかによって形(料金体系)も変わってくる
- ・集客力に目が行き過ぎたという反省もあり、来年度に向けて目的と方法を明らかにして行きたい
- ・部会にもフィードバックしたい
- ・開講の目的を明らかにすることで、いろいろな可能性も見えてくる

c.(仮)Kintone Café 商工会議所との連携の件

d.«Web セミナー 新卒のかんづめ»の経過と今後に向けて

(久保田副理事長より)

*まず、視聴して「とても良い試みで良かった」と感じた。

前回、商工会議所の稲葉理事から、「人材確保が厳しいという状況で、何か手伝えることはないか」という話になり、会議所には東京から静岡に移住したいという話もあるので、そういう人たちに対して SIIA の紹介とマッチングができるのでは、という提案があり、人材開拓推進部会で協議頂明ければと感じたとの提案があった。新卒だけでなく、中途採用の道も開けると思われる。

2)会の活性化事業

a.«ICT 会員交流会»開催

- ・内容:第 1 回目として、各社の代表者の交流から始める
- ・ビジネスマッチング部会に依頼する予定が現在 Kintone Cafe 準備で忙殺されているため、日程調整が必要となる

*本年度は、2月が各部会事業で忙しく、今回拙速に始めることを避け、次年度に改めてビジネスマッチング部会に案を作ってもらおうこと久保田副理事長から提案された。

本日の部会にも、同様の話を伝えてあり、やはり今年度末は会員を集められるか懸念される声もあったので、次年度に申し送ることが妥当と思われる。

- b. 近隣地域間(神奈川県 & 愛知県)連携事業の検討
- ・当面神奈川県情報産業サービス協会等との交流を検討
- ・次年度事業として見据え、「ICT 会員交流」から始めたい

* 足元を固めてから実施する方向で進める(久保田副理事長)

3) 次年度事業及び部会活動(体制)

- ・事業案(静岡市には補助金の関係で計画案を提出済み)
- ・部会活動について(事業計画部会にて検討を始めたところ)
- ・部会体制(メンバー増強と正副部会長の交代など)

* 本日特に理事の皆さまにお願いしたいことは、各部会が現在活性化している中で、このままでは疲弊してしまうので、理事各社あるいはお知り合いの会社から、部会メンバーの輩出についてご協力を頂きたい。

現在、部会メンバーは殆どが理事会社からであり、少々寂しい感もある。是非、理事会社外にも声をかけて頂きたい。

そのためにも、次年度の総会や会員交流会などを通じて、このような要請も会員各社に広めて行きたい。

(3) 連絡事項

- 1) 岸本理事より「数理・データサイエンス教育」への講師派遣協力の依頼(できればSIIAとして取り組んで頂きたいが、詳細については後日改めて知らせる)があった。

2) 次回理事会: 1月28日(火) 16:00~17:00

会場: 静岡商工会議所 401 会議室

2) 理事・役員新年会: 1月28日(火) 理事会終了後

会場: 「つたの」葵区常磐町 1-5-11 会費 5,000 円

閉会のあいさつ (久保田副理事長)

今日、理事会の中で改めて認識したことは、「何のためにやるのか」という目的をはっきり意識しないといけないということで、それを忘れてはいけないうことだが、部会活動も自分たちとしては一生懸命取り組んではいるものの、それが「何のためにやっているのか」ということを改めて意識してやらないと、その方向性がずれてしまうと感じた。

そのことを改めて知ることができただけでもありがたく思いました。
年末年始にかけて、お身体に留意され良い年をお迎えください。